

新年 特別講座のご案内

NPO 東海自然学園が運営している自然活動リーダー養成講座『東海シニア自然大学』は、様々な切り口から自然について学ぶ年間講座です。植物や生きものの特徴や種類、構造や仕組み、人との関係などを学び、自然の魅力や大切さを改めて感じられます。また、仲間との繋がりが力となり、卒業生を中心として実施しているボランティア活動も年数を重ね、大きな実績となっています。

そんな東海シニア自然大学では、新年最初の講座を「特別講座」とし、一般の方にも公開致しております。毎年違う講師をお招きし、専門分野の興味深いお話を拝聴します。今年は下記の内容で開催いたしますので、ご興味のある方は是非、ご来場ください。

沢山のご来場をスタッフ一同、お待ちしております。

◆開催日 2020年1月11日（土）14時～16時（13時半より受付）

◆会場 東別院ホール（東別院会館3階） 名古屋市中区橘2-8-45

◆アクセス 地下鉄名城線「東別院駅」4番出口より、西に徒歩約5分

◆講師 長谷川 博 先生（東邦大学名誉教授）

◆題目 『アホウドリ：乱獲→絶滅寸前→再生へ』

◆概要 羽毛採取のための乱獲により、一時、地球上から姿を消したと信じられた大型の



海鳥アホウドリ（オキノタコウ）は、1951年に伊豆諸島の鳥島で再発見された。それ以来、多くの人が協力して積極的保護活動が続けた結果、2018年に鳥島集団の繁殖つがい数が1,000組、総個体数は5,000羽を超え、この種の再生が確実にになった。この鳥の保護の歴史をたどり、その将来を展望する。

◆参加費 無料

◆申込 不要（※どなたでも参加可能です。ご家族、ご友人もお誘い下さい）

長谷川博 先生

1971年京都大学農学部卒、1976年同大学院理学研究科博士課程単位取得退学、日本学術振興会奨励研究員。1977年東邦大学理学部助手。講師、助教授を経て2004年教授。現在、東邦大学名誉教授、NPO法人OWS会長。1976年から絶滅危惧種アホウドリの保全研究に取り組み、個体数回復に成功。都民文化栄誉章、吉川英治文化賞、全米野生生物連盟・保全功労賞（国際部門）、日本学士院・エジンバラ公賞、日本自然保護協会・沼田眞賞などを受賞。著書に『50羽から5000羽へ』（どうぶつ社 2003）、『アホウドリに夢中』（新日本出版社 2006）、『オキノタコウの島で』（偕成社 2015）など。



- 会場周辺にて青色のベストを着たスタッフが立って誘導させていただきます。
- お食事は済ませてからご来場ください。（※会場内は食事禁止です。）
- 公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をよろしくお願い致します。

【問い合わせ先】 NPO 東海自然学園 ●電話・FAX (052)265-9019 ●メール tokai@n-ac.jp